

# 竹原市立竹原西小学校 「ハチの干潟観察会」の支援

2026年6月15日（月）に竹原市立竹原西小学校よりご依頼を受け、5年生の児童達が行う「ハチの干潟観察会」への出前指導に赴きました。当日は梅雨のあいま好天に恵まれ、5年生41名と引率の先生方とともに観察会を実施できました。観察会では最初に、干潟の生きものを観察するときの注意点などを説明した後、ハチの干潟に向かいました。干潟では、今年も貴重なカブトガニの幼体を発見でき、児童の皆さんにカブトガニが育まれる素晴らしい干潟生態系が自分の故郷に残されていることを実感してもらうことができたのではないかと思います。また、ハクセンシオマネキなど他の貴重な干潟の生き物の観察もできたほか、干潟が単なる泥場ではなく小さな藻類（珪藻）がびっしり生い茂る目には見えない大草原であることを現地での簡単な実験を通じて学んでいただきました。観察中にはプラスチックゴミを皆で回収し、人間活動が海洋生態系に及ぼす問題について考えてもらう機会も持つことができました。限られた観察時間でしたが、日常生活では出会う機会の少ない自然との触れ合いを通じて、児童の皆さんがハチの干潟や海洋生態系への興味を深める一助となれば嬉しく思います。



干潟観察について注意点の説明中



今年もカブトガニの幼体に出会うことができました



干潟の泥に生い茂る底生微細藻類を実感してもらう現地実験も行いました



短い時間でしたが、子供たちは元気いっぱい干潟を楽しんでくれたようです